



クラブ会長ターゲット
「ロータリーを始めよう」
"Let's start Rotary"
2023-2024年度
東京臨海南ロータリークラブ会長
杉浦孝浩



国際ロータリーテーマ
「世界に希望を生み出そう」
"CREATE HOPE in the WORLD"
2023-2024年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

2024年5月31日【第25回例会】

創立：2023年7月7日
会長：杉浦孝浩
副会長：勝間田健一
幹事：佐久間裕章
プログラム長：菅原友行
(会報担当)

6月14日の卓話

5月24日の出席率

6月28日の卓話

「イニシエーションスピーチ」

森田 肇様 (当クラブ会員)

会員在籍者数 43名
会員出席者数 31名
会員欠席者数 12名
本日の出席率 72.10%

「最終夜間例会」

18:00-20:00
3F 吉野の間

《2024年5月31日例会報告》

東京臨海南ロータリークラブ 第25回例会

司会：渡辺真吾 SAA 委員長

■点鐘：東京臨海南 RC 杉浦会長



■ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

：ソングリーダー：曾根副委員長

■「四つのテスト」斉唱（歌）



■「ロータリーの目的」唱和：勝間田副会長



■来賓・ゲストスピーカー紹介：杉浦会長

・国際ロータリー第2580地区パストガバナー
東京ロータリークラブ 水野正人様

■ビジター紹介：榎本会員



・臨海南 RC・新クラブアドバイザー
東京臨海 RC 大澤成美様
・臨海南 RC・拡大補佐
東京臨海 RC 齊藤 実様

■卓話（紹介者：杉浦会長）

・国際ロータリー第2580地区パストガバナー
東京ロータリークラブ 水野正人様
【演題】「ロータリーを楽しもう」



■会長報告：杉浦会長

・6月14日にガバナー補佐栗山義広様と次年度ガバナー補佐山田太熙様が訪問される予定です。
・理事役員会にて当クラブにて衛星クラブ設立が承認されました。設立準備委員会を立ち上げ、総会での説明をさせていただきます。

■幹事報告：佐久間幹事



- ・次年度活動方針と計画書の提出依頼を次年度委員会担当の皆様へメール送信いたしました。ご提出は、6月24日までをお願いいたします。
- ・6月28日開催・最終夜間例会のご案内を皆様へメール送信しております。返信は6月12日までをお願いします。

■出席状況報告：会員増強委員会・伊藤芳樹会員
(詳細バナー下に掲載)



■ニコニコBOX報告：木村委員



(ご意向) ”ロータリーを楽しもう”パストガバナー水野正人様、卓話楽しみにしています。
 : 拡大補佐・斉藤実様、
 (ご意向) 本日は夜間例会、親睦を深めましょう。
 : 新クラブアドバイザー大澤成美様、杉浦会長、勝間田副会長、佐久間幹事、伊藤芳樹会員、市川会員、石神会員、諫山会員、小栗会員、熊澤会員、佐藤正樹会員、坂本会員、菅原会員、曾根会員、田中会員、高橋睦会員、高橋映治会員、森田会員、毛利会員、渡辺会員、木村会員

【20件 44,000円 今年度累計 1,107,000円】

■私のロータリーモーメント発表

石神平会員、小林龍兵会員、
 曾根哲会員、森田肇会員、



木村謙一会員、佐藤正樹会員、
 小栗直士会員、米澤章吾会員



■点鐘・閉会：杉浦会長



春の家庭集会報告

(参加メンバー順不同・敬称略)

◆第1グループ(曾根リーダー)・議事録

開催期日:2024年5月30日

参加メンバー:曾根・菅澤・浅野・金井・米澤

議題:「例会運営について」

- ・あとにも先にも例会に参加する事が一番大事な中で例会運営が当たり前にある。その中で2年目になってくる会員の運営への参画意識を持っていく2年目になっていく事を話しをすることで、再認識しました。
- ・出欠の返信はするのが当然なのですが、LINEでの出欠、事務局メール等を統一してわかりやすく使いやすくして欲しい思いがある。重複したり少し混乱してる意見が多数出てる。
- ・受付業務への参加、所作マナー、役割引継ぎ、代理については、意識の確認等もう一度話し合いました。



◆第2グループ(渡辺リーダー)・議事録

開催期日:2024年5月27日

参加メンバー:渡辺・菅原・川添・石神・高橋睦・平井

議題:「例会運営について」

- 高橋) いままでかかわっていなかったのあまりわかっていない。タスキの意味もわかっていない。
- 石神) 皆がいろんな役割をできれば、もっと滞りなく進むのでは。
- 川添) 司会をさせてもらった。やってみて思ったのは、いろいろな役割をもっとやるべきだと感じたが、

実際にはまだできてない。今後はどんどん参加していきたい。

平井) まだ入って半年も経っていきななく受付などもどこまでお手伝いをしていいのかわからない。

渡邊) 自分は当時は 30 分前には行っていた。行っていると自然と手伝う形になる。

それが自然と仕事に繋がるようになってきた。遠慮をすることはない。

菅原) 衛星クラブから移動してきて、わかってなかったけど、今は例会に極力参加して、できるだけ早く行くのが良いと感じている。

参加することでより携わりたい気持ち芽生えてくる。次年度からは気持ちを切り替えて参加したい。

渡辺) 早めに参加することで自然と人との関わりが増えてくる。

普通に生活しては絶対に接することができない人と繋がれるのはロータリーの運営ならではのもの。

■入ってからの感想

高橋) 運営側の交代がしっかりと行われている。

衛星クラブの存在も初めて知った。

石神) 本当に皆が楽しそう。他の会も知っているがロータリーほど深い付き合いがない。自分は若い世代になるが、自分の立ち位置、行動ふるまいが、正しいベクトルにあるのかを確認できる場所。

油井会長の甥っ子という七光ではなく、石神という自分を認識してもらえようになりたい。

川添) フラットに仲良くなれたことが良かった。

参加率が 60%程というのは意外。初めましての人がいまだに多いのでそれはどうにかしたい。

平井) 日頃の生活や仕事では知り合えない人と出会えて、そんな人たちと深い話がこの短期間でもできて、非常に有意義な会。今後はもっと携わるべく 30 分前には行く。

菅原) 年齢の違いがありすぎてなかなかの溶け込めない。雇われ社長なので平日ゴルフは付き合えない。その壁があって苦しいのは確か。

年齢と時間が壁になっているが、次年度はもっと率先して行事に参加できるようにして行きた



◆第 3 グループ (熊澤リーダー)・議事録

開催期日: 2024 年 5 月 23 日

参加メンバー: 熊澤・寺田・板越・木村・田中・須賀・勝間田

議題: 「例会運営について」

熊澤) 出欠の返信について、ボランティアで運営をしているので互いを思いやりなるべく早く返信すること。役割があり、やむを得ず欠席する場合は自身で代理を誰かに依頼すること。壇上に上がるとき下がるときに国旗に一礼をすること。受付業務を積極的に手伝うことによって顔を覚えることができる。経営者の仲間づくりができる。仲間づくりをしておく、頼みごとをしやすくなる。他のクラブにメイクアップで参加し、知り合いを増やすのも良い。

板越) まずは知り合いを作り、仲良くなることを心掛けていた。一生の友達をつくるつもりで参加していきたい。異業種の方とつながることも魅力のひとつ。

須賀) 板越さんと想いは一緒。例会等の参加表明を早くするよう心掛けたい。自分の会社の従業員であったら同じことをされたら気分を悪くする。当たり前なことだけに気を付けたい。従業員に話すことができないようなことを気軽に相談できることが良い。

木村) 互いを刺激し合える仲間に会えたことが魅力である。会ってなくても皆がそれぞれ仕事を頑張っている様子が想像できるので、自分も頑張ろうと思える。

寺田) 出欠の返事をしていないことがある。予定を立てにくく、後日返事をしようと思い、そのまま忘れてしまうことがある。同じ考えを持つ人に会えたことがなく、何かを相談したことはない。まだそこまでの関係性を作れていないのだと思う。

勝間田) 自分が幹事をやっていたときには、仕事を部下に任せることを率先していた。それにより部下の成長にも繋がった。

熊澤) 会社の組織作りについて学ぶことができた。ロータリーがきっかけで海外へ行くことができた。

勝間田) ロータリークラブの良いところは経営者の集まりということで、忙しいのは皆同じである。会社の部下に仕事を任すことによって、その部下は成長することができる。出欠の返事を早くすることは経営者であるまえに、人としての立ち回りがどうなのか考えるべきである。

◆第 4 グループ (榎本隆文リーダー)

開催期日: 2024 年 6 月 4 日

参加メンバー: 榎本・諫山・坂本・伊藤芳樹・小林・森田・富澤



◆第5グループ（佐藤正樹リーダー）・議事録

開催期日：2024年5月28日

参加メンバー：佐藤正樹・高吉・伊藤一正・小熊・丸山・毛利

議題：「例会運営について」

出欠の返事について

- ・後から変更できるので連絡があったときの予定でも返事は必ずするように。
- ・返事がない場合の会場の食事の手配等で無駄になる事があるので、サスティナビリティを考えて返事をしてほしい。

役割の引き継ぎや代理について

壇上の上がり方について

- ・ロータリーでは登壇前に向かって左側より手前で国旗に一例後、登壇。
降壇する際は右側に降り国旗に向かって一礼後、降壇。
- ・他の場所でも壇上に上がる際には国旗等に一礼、降壇後一礼している。
- ・国旗等が無くても講演台に向かって必ず一礼、下がって一礼している。

受付業務の積極的参加

- ・受付業務を手伝う場合は開始30分前には着いてほしい。
- ・雑用を積極的にやることによって周りを見て嗅覚を磨くことは他の事でも役に立つことがある。

司会は当日の発表者の確認と出席確認

- ・司会は原稿が有っても早めに来て当日の調整などがある。

ロータリーに入ってから感想

- ・ロータリーに入ってから例会などは楽しいが、本質の部分の楽しいというのがまだわからない。
- ・出席率が5割なのでもっと参加します。
- ・例会以外の場所での付き合いがあることによって付き合いが深くなっていくのが楽しい。
- ・立場が下にあるので学ぶ機会が多い。
- ・ロータリーという共同体で学び、信頼関係を結ぶ場所
- ・事業で救われたことがあった。

◆第6グループ（市川リーダー）・議事録

開催期日：2024年6月4日

参加メンバー：市川・小松・小栗・羽鳥・吉澤・高橋
映治・佐藤成雄

議題：「例会運営について」

○出欠の返信について

→返事しないは設営側がヤキモキしてしまう為

- ・クイックレスポンス、仕事と同じだから、やりましょ！意思表示後の変更はOK、
- ・早いだけで評価される、逆に、遅い人はそれだけで悪評となるのはもったいない。

○役割の引き継ぎや代理について

→欠席する場合、必ず事前に代理をお願いする

- ・誰が当番か、皆が確認することが大事、自分の番か否

かがわかっていない人もいます。

○壇上の上がり方について

→壇上に上がる時は国旗に一礼、下がる時も同様
こちらについては特に意見はなく、皆さん身につけてきているようでした。

○受付業務の積極的参加

→早く例会場に来たら受付業務を積極的に手伝う
会場到着12時を目指している、積極的に取り組みたいという意見がありました。

○司会は当日の発表者の確認と出席確認

→例会前に送付される次第を印刷して持ってきている、携帯に保存しているなど、皆さん工夫しているようでした。事前に読んでおけば、そんなに大変ではないですね。

□その他

それぞれのメンバーの仕事（事業内容、強みなど）を聞くことができとても有意義な時間でした！

